

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 むすびヶ丘大崎

公表日 2025年 3月 19日

対象人数 (保護者) 契約数34人

回収数 28人 回収82.4%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28					国の設置基準を遵守している。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28					国の基準を守り、加算要件を満たす人員配置になっている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	1				子どもが分かりやすい教材を使い、掲示物が過多、雑多にならないよう配慮している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28				いつも綺麗で個別のお部屋にも息子も安心して療育を受けられています。	療育終了後、毎日清掃を行い、清潔さと心地よさの維持を心掛けている。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2			指導員による。息子に寄り添ったご指導をさせていただいているので、息子も楽しく通っています。	社内・社外研修に参加し、指導員の質の向上に努めている。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	27	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27		1		中長期マイルストーンに欠け、目標、次ステップが見えにくい。相談や終わった後にお話を伺っていたりした内容が、計画にしっかりと組み込まれています。	子どもの発達段階を把握し、保護者のニーズを含めた個別支援計画を作成している。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	3				
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	2				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2			毎回様々な内容で療育していただいております。息子が最後までできるように、好きなことを取り入れながらご指導いただいております。	沢山の教材を使い、1人1人に合わせた内容で、個別療育を行っている。保護者のニーズと成長に合わせた集団も一部行っている。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	10	7		そうした機会はなかったです。療育の一時保育に通っています。	保育所や幼稚園と平行通園されている子どもが多くいるので、在籍園で他の子どもとの交流が担保されている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28				いつも同じではなく、いろいろな支援をしてくださっています。	個別支援計画を提示しながら支援内容について説明している。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28				ペアレントトレーニングが取り入れられ、大変ありがたい。ペアレントトレーニングの時間に、保護者の交流会の機会が設けられていると思います。きょうだいへの支援は特にはないと思います。ペアレントトレーニングを2回受けました。毎回とても勉強になり、子どもや自分自身の日々の気付けなかったことに気付いたりできました。とてもよい機会をいただけて良かったです。	12月より全保護者を対象にペアレントトレーニングを個別、ペア、夫婦などで行っている。話したり、聞いたりすることで「私だけじゃない」「褒めてくれる」など沢山の好循環になり、相談できる場所を作っている。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	26	1	1		療育後に子どものことを細やかに、教えて頂いております。	毎回の療育終了時のフィードバックでは、課題の目的をお伝えし、質問に答える時間を設け、子どもの成長の共通理解を図ることを心掛けている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	5			お話を聞いていただいたり、子どもや私にとって良い方法など教えて頂いております。	毎月ペアトレを実施し、相談しやすい体制を整えている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	13	11		そうした機会はなかったです。保護者同士の交流やイベントがあったら知りたいです。まだ、参加できていないので、わかりません。そのようなイベントをまだ経験していないため、「どちらともいえない」を選びました。	保護者会は今後実施予定である。ペアトレの時間、保護者同士の交流できるきっかけを作っている。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	4	1			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	4				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23	4	1			
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	5			私自身が把握できていないだけだと思います。	事故防止、緊急対応、防犯、感染症対応マニュアルをいつでも見れるよう、広場のカゴに設置している。研修、訓練は、安全計画の中で計画し、実施している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23	5			まだ療育中にそのような経験がなく分からないため、「どちらともいえない」を選びました。	BCPIに沿った訓練を実施している。来年度は、全員参加できるよう予定している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	8			今までそのような状況がないので、わかりません。まだ療育中にそのような経験がなく分からないため、「どちらともいえない」を選択しました。	安全計画に基づき、行われている。保護者に周知できるよう努める。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	4			気持ちの波があり本人の気質によるものです。楽しい時は楽しく参加しますが、気がのらないと行きたがらないです。毎回楽しみにしています。	子どもと保護者の方に、今後も安心して通っていただけるよう支援や運営に努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	1				いろいろなご意見を励みに、今後もむすびヶ丘大崎の療育にご理解、ご協力いただけるよう職員一同質の向上に努めていく。